

事業者名	公益財団法人 日本心臓血圧研究振興会			
機器名	心停止後症候群治療システム			
写真				
設置場所	(公財)日本心臓血圧研究振興会 附属榊原記念病院 (東京都府中市朝日町3-16-1)			
特徴・用途	<p>中心静脈留置型経皮的体温調整装置を用いた心停止後症候群患者の高次脳機能の温存を主とする高度虚血再灌流障害に対する治療的低体温療法を目的としたシステムである。従来のブランケットや冷却パッドによる「体表面冷却法」で発生していた交感神経系の活性化に伴う深部体温と皮膚体温の乖離現象や、その管理調整の煩雑さを回避し、深部冷却による直接的な主要臓器の組織障害保護作用を目的としており、冷却精度の高さ、ならびにその簡便性に関して医療管理の面での有益性を含め実例の検証を行い同システム運営の充実を図る。</p>			
利用状況	年月	稼働日数 (日)	利用回数 (回)	主な利用内容
	平成 25年 12月	3	1	拡張型心筋症に伴う無脈性電気活動蘇生後の心停止後症候群に対してPCPSとサーモガードシステム併用の血管内冷却とコアテンプによる体温管理を行い治療的低体温療法を施行した。
	平成 26年 1月	0	0	
	平成 26年 2月	0	0	
	平成 26年 3月	3	1	重症僧帽弁狭窄症に合併した心室細動蘇生後の心停止後症候群に対してサーモガードシステムによる治療的低体温療法をコアテンプによる体温管理の下施行した。
	平成 26年 4月	0	0	
	平成 26年 5月	0	0	
	平成 26年 6月	0	0	
	平成 26年 7月	5	2	①心室細動蘇生後急性心筋梗塞の心停止蘇生後症候群に対してサーモガードシステムによる治療的低体温療法併用下に緊急経皮的冠動脈形成術を施行した。 ②心静止・無脈性電気活動を合併した心原性ショックを合併した急性心筋梗塞に対して経皮的心肺補助装置ならび大動脈バルーンポンピングによる体温冷却・心肺補助を行い、コアテンプによる体温管理のもと緊急経皮的冠動脈形成術を施行した。
	平成 26年 8月	0	0	
	平成 26年 9月	0	0	
	平成 26年 10月	0	0	
平成 26年 11月	0	0		
補助事業概要の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/koueki/h25/pdf/25-1-089.pdf			